校長室だより

R7.2.4　Vol.37

２月になりました

１月行く、２月逃げる…とはよく言ったもので、あっという間に１月が終わり、もう２月です。まさに「光陰矢の如し」です。

今日からは立春。旧暦ではこの季節が１年の始まりです。そしてこの季節から数えて一番初めに吹く強い南風がご存じ「春一番」「♫雪が解けて川になって流れて行きます♫」（ご存じの方いらっしゃいましたら、いいねボタンを押してください。笑）

数えてみました。修了式まであと32日、卒業式までは31日。あと30回とちょっと「おはようございます」を言ったら１年が終わります。これからの毎日、6年生は小学校生活の締めくくりとして、卒業に向けて気持ちを高めていくことと思います。思い出を辿りながら、そして未来に向けて、6年間の総仕上げをしてほしいです。

学習発表会　アナザーストーリー２

１年生発表の BGM!! 個人的にはツボに入りました。フラフープ回しの時、久保田利伸さんの「まわれま～われメリーゴーランド♫」きっと１年生は『何だこの曲？』と思いながらも一生懸命回したんでしょうね。その可愛さがたまらない。１先生の狙い通り？(笑)

２年生、来賓の校長先生が「２年生でもあんなにうまく表現するの？」と感心されていました。これからが楽しみです。５年生の楓芽君！６年生の希星さん！波瑠乃さん！長台詞をがんばって覚えていましたね。すごい！「明日までに覚えてくるように！」私たち教員の決まり文句ですが、覚える方はどれだけ大変か…。その立場になるとよくわかります。４年生の１年間の思い出発表。背景等一切ありませんでしたが、その背景が見えてくるようでした。子供たちの演技力、表現力の高さを感じました。H 先生と子供たちが一体となって練習に取り組んでいる姿がとても素敵でした。

四方山話真穴 ver.　其の三十七（この道や…）

『この道や　行く人なしに　秋の暮れ』そう書いた書写のプリントが教頭の机の上に置いていました。「お！教頭先生！俳句の学習ですか？いい俳句ですね。誰の句でしたっけ？」「芭蕉です！」「え？ほんとに？」「あれ…違ったかな？」「またあ！すぐテキトーなこと言うんだから教頭先生！（笑）」調べました。『この道や　行く人なしに　秋の暮れ　**松尾芭蕉**』「げっ！合ってた…。」テキトーなのは私でした…。（この場をお借りして深くお詫び申し上げます。）

学習発表会で４年生の発表内容にもありましたが、十七音の中に、季節を表す言葉を入れ、自然や日常の出来事や心の有り様を表現する俳句。日本独特の伝統文化ですね。欧米の国々が物事を論理的に捉える習慣があるのに対して、日本では情緒的に捉える習慣があると何かの本で読みました。

今、学校教育には**論理的思考力の育成**が求められています。それを苦手とする子供が多い現状であったり、世界中の人々と関わる機会が増えるこれからの社会に生きていく人材の育成であったり、そんなことが背景にあるのだと思います。思いを論理的に伝える、この指導は大切にしつつ、私たち日本人は、元来、情緒的に捉える優れた力を持っていることも忘れず、その力の育成も大切にしたいと思っています。

余談ですが、江戸時代に俳句を生み出す基になった短歌（和歌）も日本の伝統文化ですね。時は平安時代。優れた短歌を詠むことができる男性が女性に大もてだったのだとか。いくら歳をとっても、とっても難解な女心。その機微を読み取り、短歌で表現する。いやあ、私には百年経ってもできない芸当ですな。（笑）

---------- 切 り 取 り 線 ----------

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思います。